



臨床美術ジャーナル Vol.7 No.1 (2018) 目次

【巻頭言】

臨床美術の第二幕

木戸修 (臨床美術学会 会長・東京藝術大学 名誉教授)

【原著】

臨床美術と“心の表現”

—アルツハイマー病の治療にいかにかかわるかの考察—

宇野正威 (日本臨床美術協会顧問、メモリークリニック御茶ノ水)

臨床美術の新たな展開—フィールドとの接合と実践知の融合—

子どもの現場における臨床美術の新たな挑戦

和田明人 (東北福祉大学) 他

総合的な学習の時間における美術教育の可能性

—臨床美術の活用による表現力と社会性の伸長—

保坂遊 (東京家政大学) 他

【基調講演】

臨床美術は「主体性・対話的で深い学び」をもたらすか

～乳幼児のための新しい教育及び保育パラダイムの創造に向けて～

那須信樹 (中村学園大学教育学部)

【研究報告】

アート教室における参加者の変化を知る (私が知らなかった臨床美術体験の効果とは)

土門環 (臨床美術「ほっかいどう」)

コーナー保育における自発的主体的活動の環境構成の試み

高木美紗 (社会福祉法人清香会)



【事例報告】

農学連携プロジェクトにおける臨床美術の活用

ー「りんご de アート」を事例としてー

末吉敬子（凸版印刷株式会社 西日本事業本部関西事業部） 他

障がいを持つ子どもに対する臨床美術

木村クリニックにおける事例報告

須藤光和（芸術造形研究所） 他

保育現場との協働で育む臨床美術の新しいカタチ

～臨床美術士が保育士と育むプロジェクト～

寺澤美奈子（社会福祉法人清香会） 他

保育現場との協働で育む臨床美術の新しいカタチ

～あるてによって引き出される子どもの豊かな感性とその変容～

杉山美濃里（社会福祉法人清香会）

こころとからだ元気になる文化の拠点をめざして

ースタジオ\*千ひろば いきいき Art(臨床美術)の実践からー

島根千尋（臨床美術士）

仙台リハビリテーション専門学校における「臨床美術」

小野寺良枝（学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション専門学校）